

発刊に寄せて

これからの道に指標を

福生市史編さん委員会会長

田村半十郎

福生は、知れば知るほど歴史のある町です。

数年ほど前に、ルーツという言葉が流行したことがあります。だれでも、自分の祖先の歩みと、生きてきた経過を知るとき、これからの道に指標を得るものではないかと思えます。過去を知ることが、将来への貴重な財産になるともいえます。

福生において、市史の編さんが始まり、郷土への理解を容易にする研究誌の発刊をみたことは、編さん委員の一人としても、心から喜ばしく思っています。そして、この研究誌が、できるだけ多くの市民に読まれてほしいと思います。地域の歴史は、私たちの過去と同時に、将来をうつしていると思うからです。

昭和六〇年七月